

# Ohminato High School キャリアデザイン部通信

大湊高校では、産業社会と人間・総合的な探究の時間を生かして、自己のあり方を考え、他者と関わりながら、社会貢献に取り組むための学習活動に取り組んでいます。そのため、3年間を通じて、様々な体験を積み重ね、また外部との関わりを持ち、課題研究に取り組んできました。

第1号 2026年1月23日  
発行：青森県立大湊高等学校  
キャリアデザイン部



地域から世界へ 大湊高校の挑戦！

1年次では「下北HEROES」を中心に地域の課題を考え、2年次では、フィールドワーク「ジオ・クエスト」によって地域で実地調査やインタビューを行います。その後3年次にかけて全員が個別の課題研究に取り組み、全校生徒や地域の皆様に向けて研究発表を行います。

## 1 1年次 産業社会と人間 下北HEROES

1年次では、「産業社会と人間」の授業を通じて、自己理解を深め、地域社会を考える学習をしています。地域の方から直接話を伺ったり、大学見学や課題研究を行ったりして、自分の関心の幅を広げる活動に取り組んでいます。

### 地域企業インタビュー

日程 7月11日(金)  
場所 大湊高校  
内容 下北で活躍される方々から、地域課題に対する取り組みをインタビューし、自分たちの考えた課題と解決案を発表してフィードバックをいただきました。



〔協力企業〕えむナースステーション A-berry ウェルネスパーク  
東京堂 むつつのたね 熊谷建設工業

### 上級学校見学会

日程 7月3日(木)  
場所 青森中央学院大学・短期大学  
内容 大学や短大の模擬授業を体験し、進路を具体的に考えるきっかけとなりました。



### 下北HEROES まとめ発表

日程 9月11日(木)  
場所 各教室  
内容 総合学科研究大会の参観授業の中で、これまでの研究成果を発表しました。



## 2 2年次 針路学 課題研究

### ジオ・クエスト

日程 6月11日(水)  
内容 3つのコースに分かれて各地域の方にインタビューを行いました。  
東通コース、恐山・薬研コース、大間・風間浦コース



実際に現地に行き、直接地域の方にインタビューし、下北ならではの魅力や課題、地域の方々の工夫や足跡を伺いました。自分たちの疑問や探究テーマを投げかけることで、地元の声を聞くことができました。

### ジオ・クエスト報告会

日程 7月23日(水)  
内容 ジオ・クエストでのインタビューや体験をもとに、自分の課題と結び付けて、研究内容の中間発表を行いました。



### 課題研究

「KJ法」を用いた課題の関連づけや、現状把握・課題設定・仮説・先行事例の調査などを通じて、課題研究の方法を学び、探究活動を行いました。



取り組み例 (個別の例を抜粋したものです)

活動③  
テーマを選んだ経緯、理由を話せるようになる例を改造して、自分の言葉にしてみよう。

- 将来保育士の観点から知育玩具を考え発案する職業に就きたい
- 現在下北BOUSAIネットワークに所属し防災について学んでいる
- 保育園の防災意識が低いと感じたら世間の園児に対する防災意識が低いことがわかった。そのため6歳以下対象の防災カードゲームなど楽しく学べるものがほしい
- 園児も楽しく学べる知育玩具を増やすべき

自分で作ればいい

### 現状の把握

←青森県のインバウンド人気観光地 TOP 10  
下北半島の観光地は 0!!  
青森県全体には 40万人も来ている。  
→下北には何人訪れているかは公表されていないため具体的にはわからない  
下北ジオパークは最終的に  
ユネスコ世界ジオパーク認定を目指している  
もっと世界中の人に知ってもらい  
下北に来てもらう必要がある!



### 活動④ 先行事例を調査

フェミニストの経済分野からの解放  
変革を促すための経済活動  
過激な表現や主張 SNSで発信  
フェミニスト=怖い  
という認識が定着してしま...  
一部の過激な人により  
○ボリテック・フレイトネス (ボリコロ)  
創作物への過剰な干渉  
し悪人化や被害者意識の醸成



# 3 3 年次 針路学 課題研究発表

## ポスターセッション

### 課題研究発表会

目的 課題研究の成果を発表して、思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに、地域に本校の取り組みを紹介・理解してもらうことを目的としています。

日程 7 月 24 日（木）ポスターセッション・全体発表

会場 大湊高校 各教室・第一体育館



## ステージ発表

代表生徒が全校生徒・中学生・来賓の前で発表を行いました。

発表テーマ  
「心の宝箱を開けてみよう！」  
「荒廃する空き地の利用」  
「震災時の医療を改善して命を守る」  
「途上国の子供たちにサッカーボールを届けるための提案」



各自が関心を持つテーマについて、2 年次から課題研究を行ってきました。その研究成果について、3 年次全員がポスターセッションでの発表を行いました。

## 学びの場を広げる 学年をこえた学びのカタチ

大学の教授や大学生との学習や、3 年次から後輩への話など、年次や学校の枠を越えて、学びの場が広がっています。

### 大湊大学

日程 9 月 17 日（水）

内容 本校を会場として、大学や短大の講座を開講し、様々な専門分野の学びを体験しました。「マンガと文学」等、多彩なテーマに触れることができました。



### 大学生と“カタル”

日程 8 月 27 日（水）

内容 1, 2 年次の生徒が、県内の大学生約 50 名と直接交流し、自分の目標を考えるワークショップを行いました。



### 先輩から学ぶ

日程 12 月 16 日（火）

内容 3 年次の生徒から、後輩に向けて、受験に向けて取り組んできたことや、3 年間努力してきたことなどを発表しました。



## 課外活動チャレンジ

## 外まなび部(ソトマナ)

## ボランティア・課外活動

### 外まなび部(ソトマナ)

本校では、全校生徒にボランティアや講演会等を紹介し、校外での学びを支援しています。様々なボランティアや講演会、スキルアップなど、多くの仲間がチャレンジしています。今年は多くの生徒が県のスキルアップの認定を受けました。

県民カレッジ 1 名  
高校生スキルアップ認定証 12 名  
高校生スキルアップ奨励賞 5 名

課外活動で、ボランティアや講演会に参加している実績を認められ、県から多くの生徒が認定を受けました。

### 「ザ・プロフェッショナル」

放課後に、地域の専門家からお話を伺い、様々な分野に目を向けています。



消防署の方から、安全を守る仕事について伺いました。

